

## 出張番外編 特集

理事長 庄司良雄

### 育樹祭 福井

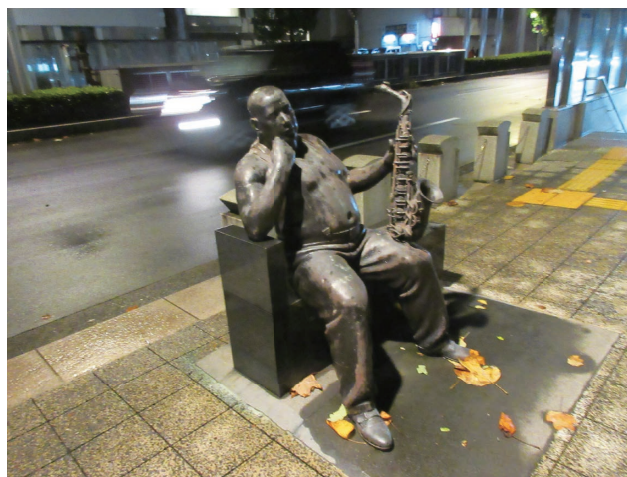
10月19日(土)宇都宮でお得意様の旭日双光章の祝賀会が挙行される。同日、午後6時より育樹祭東京からの出席者のレセプションが予定されており、どうやって間に合わせようか考えをめぐらされる。10時受付11時開式。総勢250名が招かれており、立食ならば途中で抜けても誰もわからないだろうと。6時の会合に出るには、宇都宮を12時に出て、いったん大宮に戻り北陸新幹線に乗り替え、福井に5時に到着しホテルに荷物を預け、あわよくばシャワーを浴びても間に合う。乗り継ぎの時間や、何番線から出るのか、綿密な計画を練る。一生に何度も無いお祝いの席、最後までお付き合いしたいのだが致し方ない。全国から招かれた取引先の方々、そしてご本人は地元の名士でもあるので、ご友人、当社のお得意様も多数いらっしゃる中、ご挨拶だけしておこうと思いきや、祝賀会は着席形式。途中から空席となってしまう、私のテーブルの方にも失礼したなあと恐縮至極。ご来賓の祝辞、乾杯、祝宴開始まではなんとか参加できた。タクシーを呼びでっかい荷物を抱え一目散で宇都宮駅へ。美味しい料理に後ろ髪を引かれながら、「お仕事お仕事」と念仏を唱える。

5時福井に到着。駅前には、機械恐竜ティラノサウルスのお出迎え。育樹祭に合わせ、ライトアップされ時折動くという。聞くところによると、秋篠宮殿下下によるお手入れの行われた一乗谷朝倉遺跡にクマの目撃情報が出、数日前から爆竹をたいて防備したとか。天気も土砂降りとなり大変だったと何う。

我が「木と暮らしのふれあい展」でも参考にしなくてはいけない。雨が降ろうが槍が降ろうが実行するんだと、肝に銘ずる。翌朝は、日本海側特有のどんよりはしているものの晴れ。気温も22℃と高いが、風があり、体感気温は低く感じる。無事式典も終了し時間通りにバスで福井駅に送られる。ボランティアの方も含め関係各位3千人の参加で、準備から3年かけての一大イベントが無事終了し、そのご苦勞に敬意を表します。本当にお



福井駅はティラノサウルスがお出迎え



誰かは知りませんが朝まで木材業界の話聞いてくれました

疲れ様でした。

帰りの新幹線は、奮発しグランクラスに乗る。人生初めてのファーストクラス。飛行機でも電車のグリーン車ですら乗ったことも無いのにいきなりファーストクラス。胸が高鳴る。一人掛けと2人並び席のたった18席の限られた空間。「寛ぎと安らぎを感じられる車内空間でお客様一人一人のこだわりの時間をお過ごしいただき、沿線の特徴を生かしたサービスをぜひ楽しんでほしい」との事。軽い食事として和・洋のどちらかが選べ、飲み物



グランクラスのリフレッシュメント

もソフトドリンクからビールに日本酒・ワイン・コニャックと飲み放題だとか。グリーン車で23,460円、グランクラスは32,040円、アテンダントの笑顔に迎えられ、車両へと誘われる。最終車両、入り口まで、おしゃれ。車内に入るとガラガラ、子供づれの親子と老年のご夫婦、女性二人連れ等、途中の駅から乗り込んでくるも満員にはならなかった。中学生らしき若い少年一人というのも、なんとなく許せない。

なにはともあれ旅の無事と忙しい行程を乗り切った自分に乾杯し、3時間30分の長旅を食事とお酒を楽しむこととした。ところが、ソファの快適さと微妙な振動ですぐに睡魔に襲われ、飲み放題のことも忘れいつの間にか長野を通り越している。慌ただしかった2日間、何が印象的だったのかなと思いますと、朝の集合場所が、宿泊先のホテル パレスインだから大丈夫とたかをくくっていたら、これがなんと勘違い。良く読み返すとパレスホテルで、集合場所に誰もいないと慌てた事。そういえば、宇都宮でもホテル東日本宇都宮と宇都宮東ホテルがあって、紛らわしいよなあとブツブツ。区民祭りの角乗は、うまくご案内できたのかなあ、来週は、全国林材業労働災害防止大会で和歌山、その次は全国木材産業振興大会が鹿児島だなと考えていたらまた眠ってしまった。

## 全国林材業労働災害防止大会 和歌山

加山雄三を見てびっくりする県岡山に続き和歌山に10月23日行くことになる。2026年育樹祭が予定されており、土地勘も無いので、林災防全国大会に前日より参加する事とする。新大阪から乗り換え黒潮に乗り行程3時間半。和歌山駅に着き、スマホの位置情報を頼りにホテルへ向かう。和歌山県の名の由来は、724年聖武天皇と共にここに訪れた歌人の山部赤人が、万葉集で「若の浦」と記していることから「和歌の浦」となったという説や、1585年に羽柴秀吉による紀州統一があり、岡山(虎伏山)に城を建てる際に、和歌の浦と合わせ



御橋廊下と和歌山城

和歌山城と命名し、明治に和歌山県となったとも言われている。和歌山と岡山も満更縁が無かった訳では無いなあと、勝手に思う。また、713年に「紀伊国」きのくにと読み和歌山県は、「木の国」と呼ばれるようになったそうだ。県土の76%を森林が占めており、温暖多雨な気象条件を生かして活発に林業活動が行われていて、強度や色合いが高く評価され住宅は勿論の事、家具建具様々な分野に活用されている。和歌山県支部長の榎本長治社長の(株)山長商店は、江戸中期に創業され、10代目であり先代より「仕舞屋(しもたや)商売をやめた家、家賃や金利収入で食べていくような家になるな」という家訓があると聞いたことがある。そのような、商売哲学もあり日々進歩発展されているようです。

林材業における労働災害は、他の産業に比べても著しく高い状況が続いております。

24日の大会宣言を深く胸に刻み、労働災害が無い安全な環境となる事を願いたいものです。

10月25日(金)⇒10時より火災共済理事会(東銀座)⇒12時 多摩産材利用拡大フェア(新宿NSビル)⇒2時 木材利用推進コンクール表彰式(木材会館)⇒3時30分 ビックサイト南館にて、GOOD LIFEフェアにて小池都知事の講演協力⇒6時 木と暮らしのふれあい展 打ち上げ

## 全国木材産業振興大会 鹿児島

10月30日⇒JALにて、鹿児島到着。飛行機の隣の座席の方がちょうど誕生日だったようで、キャビンアテンダントから祝福されていた。なぜかこちらも幸せな気分となる。

10月31日⇒11時より川商ホールにて、全国木材産業振興大会の理事会。

鹿児島県民の方は、桜島に大変思い入れが強いようだ。今日の会場も桜島を一望できる川商ホール、懇親会会場も鹿児島サンロイヤルホテルで、展望台・大浴場からも桜島の全景を眺める事ができるのが売りで、人気の高い場所だそうだ。桜島は、何でも標高は1117



林災防会長賞、数矢製材(株)村井大様受賞おめでとうございます！



GOOD LIFEフェア(ビッグサイト)



GOOD LIFEフェア(ビッグサイト)  
小池百合子東京都知事が木の心理面の効果(リラックス・癒し)についてお話いただきました



桜島



桜島標高1117m...



鹿児島駅屋上に大観覧車



焼酎グラス一杯250円で楽しめる店

メートル。車のナンバーにも、11-17を付ける方も多いそうだ。東京でも見かけたらきっと鹿児島出身の方ですよと教えられる。なんか、見たことがある数字だなあと考えていたら、「あー俺の誕生日だ！」鹿児島は焼酎のメッカだけど、鰻も美味しいよと教えてくれた方。何でも東京の値段の半額で豪華な鰻が食べられるとか。あいにく食べられなかったけど、焼酎グラス一杯250円という店を教えられ、看板に誘われ入店し、堪能する。

全国から800名が集まり、中々タクシーが捕まらず、バスや路面電車での行き方を教えてくれた方、鹿児島の人は皆親切だったなあと、ほのぼのする。

11月1日(金)⇒都庁にて、「東京の林業振興に向けた専門懇談会」に出席。怒涛のような、スケジュールだった。すべての行事がコロナ禍以上に全開する。2025年は、どのような年となるか楽しみであります。